

■国際交流

現在、世界の7つの国・地域の13の大学と学術交流協定を結んでおり、教員間の学術交流と併せて学生の短期留学などの相互交流を行っています。国際交流センターでは、より体系的な組織運営を通じて、協定校との連携を中心とした本学の更なる国際化を目指します。

■学術交流協定大学との交流活動

教職員の交流、学生の交流、学園及び学術情報の交流、共同研究、講義シンポジウムなどを目的として、海外の大学と学術交流協定を締結しています。この協定に基づく、1年以内の交換留学は年間3名まで可能であり、入学金や授業料などの学費免除や単位認定に関しての配慮などが取り決められています。

平成29年度にトビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム佐賀地域人材コースに採択された学生1名が、オーストラリアのパースにて英語学習と現地幼稚園インターンシップを組み合わせた留学を平成30年3月中旬から半年間行います。

また、交換留学生として、総勢17名の学生（中国・アモイ理工学院3名、中国・安徽三聯学院3名、台湾・義守大学3名、韓国・建国大学3名、タイ・ブラパー大学3名、ベトナム・ハノイ大学2名）が来学しています（平成30年4月時点）。

【協定校】

アラスカ大学（米国）、NY州立大学アディロンダック校（米国）、リュブリャーナ大学（スロベニア）、安徽三聯学院（中国）、厦門理工学院（中国）、モコン大学（韓国）、大田科学技術大学（韓国）、建国大学（韓国）、宜蘭大学（台湾）、元培医事科技大学（台湾）、義守大学（台湾）、ブラパー大学（タイ）、ハノイ大学（ベトナム）

■短期の国際交流活動

平成29年度では、派遣としては、総勢64名が海外の協定校などへ留学または研修に参加し、外国語や異文化についての理解を深めると同時に、現地の学生との交流を通じて双方の友好関係の拡大を図ることができました。また、夏期と春期休暇中にそれぞれ実施した日本文化研修を中心に、各種プログラムを実施した結果、67名の学生を海外から受け入れました。

平成30年度は日本学生支援機構の海外留学支援制度（協定派遣）で採択された1つの奨学金支給プログラムを中心に、協定校への派遣を予定しています。